



相談室だより

No.80

発行者 北海道クリスチャンセンター
家庭福祉相談室事業後援会
会長 藤川 知子
札幌市北区北7条西6丁目
TEL・FAX 011(746)6374

いちばんあとから

牧師 浅野 純

東北地方の教会にて牧師をしていたとき、毎年小中学生を集めてキャンプを行っていました。そのプログラムの一つは登山です。大人が普通の速さで3時間くらいかけて登る高さの山です。登山では普段はわからないいろいろなことに気付きます。おとなしい人が走って登ったり、元気でいばっている人が途中でへこたれたり、けちけちしていた人が水筒の水を飲ませてくれたり、登りたいのを我慢して山の下でみんなのテントや荷物の番を引き受けてくれたりします。

登山に際してスタッフの大人は見守りに回り、参加者の子どもたちのなかから「リーダー」と「副リーダー」を決めます。先頭に立って道案内をするのはリーダーです。そして副リーダーは列の最後を歩き、遅れて登る人を励まします。どちらもこの山の登山経験者です。道に迷うと大変だからです。何度も参加している子どもはリーダーになることを希望します。道に詳しいだけでなく、自分だけ先に行こうとせずに一人ひとりのペースに気を配りながら登ることを求められます。しかし実際は、リーダーになりたい一番の理由は先頭を歩くのがかっこいいと思っ

ている子どもは、ほとんどいません。最後を歩くからです。一人でも遅い子どもがいれば、一緒に歩かなければなりません。しかし本当に大切なのはこの副リーダーなのです。副リーダーが役割を果たすことによって最後にみんなが頂上にたどり着くことができます。どんなに登るのが遅い人がいても、確かな副リーダーがいれば安心なのです。

社会は登山のようなものです。みんなそれぞれいろいろな歩き方、いろいろな歩く速さで進みます。早く歩く人もいれば、みんなよりもずっとゆっくり歩く人もいます。リーダーを追い越して少しでも我れ先に行こうとしてとんでもないところに行ってしまう人がいるかも知れません。そのようなことが起こらないために責任あるリーダーは必要です。しかし本当の意味において最も必要とされるのは、だれも置いていかないようにするために一番後から歩く副リーダーなのです。

わたしたちの社会のなかで、子どもはゆつくりとしか歩くことができません。いつも最後の方を歩いています。多くの大人は先を争って進もうとし、後ろにいる者を気に掛けてはいません。

ある人は言いました。「これほど豊かになつて、これほどしあわせにならなかった国はめずらしい。」

遅れて歩く人たちを置き去りにし、時には踏みつける出来事がわたしたちの周囲のいたるところで起こっています。

す。それはとりも直さず、命を大切なものとして扱うことも失いつつある社会です。見渡すところ戦争がなくならず、弱者が切り捨てられ、差別を固定化する、暴力に満ちた社会にあって、たとえ一番後からでも、わたしたちはみんなが共に頂上にたどりつくことを目指し、ゆつくりと遅れて歩く人と一緒に生きることを求められています。「すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい」

(マルコによる福音書9:35)

家庭福祉相談室にかかわる人たち、子どもたちが、いつもその視点に立つて、「副リーダー」であるイエス・キリストと共に、同時に「副リーダー」としての存在であることを何よりも心強く思います。



もう1回すべろう♪ うん!

グループの子どもたち

「ちびちび」のこれから

「そだちの広場 ちびちび」は、福祉サービスの受給者証が無くても利用できる、家庭福祉相談室の独自事業であり、発達に心配なことがあるお子さんに、保護者と一緒に安心して楽しく遊んでもらう事で、「そだち」の一助となれるように場を提供しています。

ちびちびに参加しながら保護者は、発達に応じて受給者証の取得を考えたり児童発達支援についての情報を得て、お子さんに必要ならば、次の年度から本格的に「療育」を始めていました。その多くは、ちびちびで通いながらいるので、家庭福祉相談室の年少児対象のグループに入っていました。

ところがこの一、二年は、年度の途中で他の児童発達支援事業所に通い始めて、ちびちびを辞めてしまうケースが続出しています。一・二歳のお子さんは、まだまだお母さんと一緒に遊ぶことが大切な時期であり、「ちびちび」は「親子療育」の役割を

果たしていると考えているので、年度の途中で辞めてしまうのは残念です。

札幌には多くの児童発達支援事業所があり、保健センター等で一歳半前のお子さんでも福祉サービスの利用を薦める場合もあるという事で、受給者証取得が低年齢化しているようです。

今後は、療育の入り口としてのハードルを上げない為に、受給者証は無くても良いという利用しやすさは継続したまま、受給者証も利用出来るようにします。

受給者証利用の方には、「療育を受けている」という実感を持つてもらえるような「ちびちび」を目指して検討を重ね準備を進めています。

中村 万巳子
(ちびちび担当スタッフ)



レモンパンナちゃん

2022年度ケースの報告

グループ在籍児童の進路別人数

グループ別	進路	学同グループ	三・三才グループ	併普通グループ	退室計	継続計
進公立幼稚園	相談室退室					
	相談室継続			1		1
私立幼稚園	相談室退室	3			3	
	相談室継続	4	5			9
保育所	相談室退室			1	1	
	相談室継続	1	3	3		7
相談室のみ						
福祉機関						
就学	通常学級			4	4	
	特別支援学級					
	特別支援学校			1	1	
その他・未定						
小計		1	10	15	9	17
総計						26

児童発達支援 家庭福祉相談室

紹介者	計
さっぼ	1
保健センター	5
幼稚園・保育園	3
その他	1
計	10

放課後等デイサービス らるご

紹介者	計
家庭福祉相談室	8
個別	2
計	10

放課後等デイサービス らるご

所属	退室計	継続計
通常学級	4	21
特別支援学級	0	20
特別支援学校	1	6
合計	5	47

発達援助グループ開室日

- Aグループ 月・金曜日
- 二・三歳児(午前)
- Eグループ 水曜日(午前)
- 幼稚園保育園の年少年中児
- Dグループ 木曜日(午後)
- 幼稚園保育園の年中長児
- 個別療育日 火曜日(午後)
- 各グループ参加児対象
- 保護者グループ
- AED各グループ開設時に、併行して別室で行う
- 育ちの広場・ちびちび
- 火曜日 午前10時~11時半
- 親子遊び 随時受け付け

主な行事

- 遠足 (Aバス遠足、水遊び、ソリ)
- (Dお買物等)
- お楽しみ会 (D・E)
- クリスマス会 (各グループ)
- お別れ会 (各グループ)
- 家族の集い (全グループ)
- (親子でムーブメント)
- 就学についての説明会 (ちえりあ・先輩母)
- 歯科健診 (全グループ)

らるご

つうしん No.11 家庭福祉相談室 らるご
2023・3・14発行 011-788-3931
080-1869-4171

今回は、らるごの活動を保護者にお知らせしている「らるごつうしん」を載せました

放課後等デイサービス事業
家庭福祉相談室 5222
らるごのじかん

少しずつ春のにおいがしてきました。いよいよ3月。卒業の季節です。らるごにも、たくさんの進級進学の物語があります。みんな希望でいっぱいです。「新1年生は何人くるの?」そんな質問も出てきました。また1つお兄さん、お姉さんになりますね。1年間ありがとうございます。また4月からよろしくお願い致します!

土曜日 (余暇活動) グループ



久しぶりに環境プラザに行きました。今回は環境プラザで自由に遊ぶだけでなく、アクティビティと呼ばれる環境プラザで設定されている講座も学ぶ、盛り沢山のプログラムです。

お昼ご飯を早めに食べて出発しました。アクティビティの中身は「タネのまけい作り」! 講義室で講師の先生のクイズに答えたり、タネのまけいを作って飛ばし、本物のタネとも比べてみるなど、楽しみながら学びました。

土曜プログラムに卒業生がいます。1年生からずっと参加してくれていたa君です。環境プラザではクイズに答えて様々なポーズをとってくれたのが印象的でした。土曜プログラムにお兄さんとして元気と明るさをくれました。進学後の活躍も楽しみです!



水曜日・木曜日 (学習) グループ



学習(水・木)グループに新たに中学生、高校生になるお友達がいます。中学生になるb君は自発的に宿題を始めるなど、とても頼もしくなりました。高校生になるc君は物静かながら、気付いたら出来るようになってきており、着実な成果を出しています。

今回、高等支援学校入試では一部の学校で高倍率となりました。記述問題が増えて、傾向も変わるなど大変な中での合格で、受験生であるo君は勿論、ご家庭、学校等沢山の努力が実った結果でとても嬉しく思っています。

合格がとても嬉しかったこと。受験で頑張ったこととして文章問題をしっかり練習してきたこと、高校では体力をつけ、コミュニケーションの学習もしたいことを話してくれました。後に続く後輩達にエールも送ってくれました。

今回進学する2名は、小学校低学年から、らるごの学習グループで学習してきました。学校の勉強をしっかりすることは勿論、入試に備えた学習や漢検受験、気持ちの学習等も行うなど、大変良く頑張ってきました。進学、本当におめでとうございます。学習グループのお兄さんとして今後もよろしくお祈りしますね!



キラキラのくす玉でお祝いです!

月曜日 (音楽) グループ



今年度始めから、個別練習タイムに取り入れてきたカップス。先月から、みんなで合わせる練習をしています。

『タン・タン・持って・ボン』のリズムから、カップスの基本パターン『タン・タン・タタタン・タン・持って・ボン』にチャレンジしています。ゆっくりから、少しずつ速く。

「星のカービー」の曲に合わせて、そろってきました。コロナ禍で封印していた、鍵盤ハーモニカも楽しく演奏しています。みんなで大きな声で歌える時も、もうすぐですね!



火曜日 (学習) グループ



アナログ時計やカレンダーは、わかってしまえば便利なものですが、全く知らない状態から学ぶには結構な強敵です。9のところに針があっても9分じゃなくて45分だし、2時55分に針が指す方向は2よりも3に近い。1時間は60分で、1日は24時間で、曜日は7つで、1年は12ヶ月。そりゃあ覚えるのも大変でもんです。

時計やカレンダーに慣れるには、よく見るところに時計やカレンダーを用意しておいて、ふだんの生活で意識を向けることが効果的です。朝起きるのは何時? らるごに行くのは何曜日? 春休みは何日間? ご家庭でも話題にしてみてください。



金曜日 (SST/学習) グループ



「カップの積み上げ」順番に一つずつ、プラカップを積み上げる活動をしました。二つのカップにまたがるように載せるのは一苦労。積み上がって高くなると「壊したい」という欲求が・・・

自然に壊れると「あー残念」だれかが壊すと「何するんだよー」と言い争いに。大丈夫! 壊れても壊されても、もう一度できるからの学習です。



ひとりの手

みんなの手

優しい場所

矢野 弘美

息子が他の子と違う事に気付いたのは児童会館の扉です。お友達に興味を示さず一心不乱に開閉を繰り返す姿を見て、何とかしようとして動いていたら相談室に辿り着きました。

人の目が気になり、常に息子を他の子と比べていましたが、ちびちびで一心不乱にボール投げをしている息子に「とても上手ね。」とずっと付き合ってたワーカーさんを見て「ここでは取り繕ったり止めさせる事もなくて良いんだ。」と涙が出そうになったのを覚えています。

息子はグループに入ってから私からなかなか離れられず、徐々に慣れてきて楽しく過ごせるようになってからも新年度には引込み思案に逆戻り。そんな息子を先生やワーカーの皆さんは優しく根気強く見守って下さり、成長を感じられない私に「子供の成長は凸凹の坂道みたいなもので、下がっているようにも成長していますよ。」と言って下さって、気持ちが楽になりました。

カウンセラーの先生や親グルー

プのお母さん達には他ではなかなか言えない悩みを聞いてもらい元気を分けてもらえました。他の子の話を聞き、成長を見る事は癒やしであり喜びでもありました。

息子は成長の後半から積極的になり、小学校が楽しみだと言いだしました。これまで息子の為に色々考えて施して下さった療育が大きな自信に繋がったのだと感謝しています。

これからも悩んでいる親子がこの優しい場所に辿り着けるよう願っています。ありがとうございます。(Dグループのお母さん)

ボランティアとして

伊藤 杏実

大学三年生の夏、勢いそのまま家庭福祉相談室にボランティア見学のメールを送った自分は英断だったと思っています。ボランティアとして参加した一年半の間、子どもたちの笑顔でたくさん救われてきました。

自分で参加したい！と思って飛び込んでみたものの、緊張と自分の力不足な自信のなさで最初のころは毎週ドキドキしながらお子さんと遊んでいました。そんな中でも変わらずいつも全力な子どもたちをみて、私の勝手な解釈になりますが一緒の空間にいることを認めてくれてるように感じられ、それからリラックスして参加で

きるようになりました。ときには、突然こちらが予想もしなかった返答や質問がきて周りの大人たちの頭を悩ませたり、幼稚園であった出来事を一生懸命に話している姿だったり子どもたちとの何気ないコミュニケーションのやりとりが日頃の悩み事を忘れさせて前向きな気持ちに切り替えるきっかけになっていたと思います。このボランティアを通して、子どもたちの笑顔を守っていきけるような大人になりたいと感じました。

私は子育てでもしたことがない、社会の荒波にもさらされていない周りの環境に恵まれてきた学生なので説得力はあまりありませんが、子どもの間家庭福祉相談室に来ていたことで何十年経っても褪せない生活の基盤や頑張る力がきつと付いていると思うので、この先困難なことがあってもその力があれば乗り越えていけると信じています。(Dグループ ボランティアワーカー)

「それぞれの記憶」

金澤 ひとみ

一歳八カ月から幼稚園入園まで息子がちびちびでお世話になりました。通い始めは五年も前ですが、私達親子にとって当時の日々は忘れられない記憶として刻まれ今に繋がっています。息子の記憶は断片的になってきた様ですが、北大

ローンでの水遊び、おやつタイムに果物の皮剥きを見て「あゝら、失敗！」と笑った事が忘れられないそう。話してくれた時、その口調が皮剥きをしていた先生にそっくりで二人で笑いました。息子は今でもちびちびにまた行きたいと言います。一方、私の記憶と言えど：そもそもは慣れない場所を訪ねるとその場を去るまで大泣きが続き手強い場所見知りにお手上げで通い出したので、相談室の入口で大騒動になっていた私達を「よく来て下さった！」と温かく迎え入れて頂いた事が印象的です。幼稚園探しの際にもご助言を頂き、本人がとてども気に入った園に三年間通う事が出来ました。

育児は正解のない自問自答の繰り返しです。その中で一つ言える事は、乳幼児であっても一人の人間としてオリジナルな生き方があり、他の子との違いや別な人間である親が未知な部分もあって当然なのでしょう。ちびちびでお世話になった太田先生の心に残る数々のお言葉を思い出していてそう気付いたのは最近の出来事です。

冬休みに息子と鍵盤ハーモニカで讚美歌を一曲、練習しました。「心に愛を豊かに満たし 日ごとのわざにつかわしたまえ」この歌詞を胸に、入学を迎える節目の春、これまで愛を持って息子を育てて頂いた全ての皆様感謝いたします。(支援者)

支援金の振込みについて

2022年1月17日(月)より、
ゆうちょ銀行の送金料金が改定になりました。

- ★現金で家庭福祉相談室後援会の振替用紙を用いて振込み下さる場合に、改定により「振込み人様にも、加算料金110円の負担がかかる」ようになりました。
- ★振込用紙を使用して、お持ちの「ゆうちょ口座からお振込み頂くと、振込み人様に加算負担は発生しない」ので、できるだけ口座よりお振込み下さいますようお願い致します。
- ★振込み用紙を使用せずに、直接「ゆうちょダイレクト」でお振込み頂くと手数料がかかりません。
よろしくお願いたします。

郵便振替口座 02740-7-34906
 クリスマンセンター相談室後援会
 ゆうちょ銀行以外から振込は
 ゆうちょ銀行二七九店(ニナナキユウ店)
 当座 0034906

支援金振込みにATMを

振込みの際、郵便局のATMをご利用下さると
手数料が節約できます。大切な支援金の目減りを
防ぐため、できるだけATMを通してお振込み頂
きますようお願い申し上げます。

寄付金控除を希望される方へ

相談室は「寄付金控除制度」が適用されます。
後援会に支援金を寄付された方で「寄付金控除」
を希望される方は、家庭福祉相談室(法人)への
寄付に切り替える必要がありますので払込用紙に
その旨をご記入下さい。電話での問い合わせは
011-746-6374 (家庭福祉相談室)

相談室のホームページ

家庭福祉相談室

検索

あ
と
が
き

相談室だよりの発送作業は、元ワーカーさんや保護者の方にお手伝いをお願いしている。多くの方に後援会の活動を知ってもらい、関心を寄せて頂けると嬉しいと思う。みんなの輪を広げて、後援会活動をやってみたいと思う方が手を挙げて下さる様に待っている。新しい方が力を発揮して様々なアイデアが生まれると後援会がより良く発展すると思う。
(真)

♡お働きに感謝。大きな慰めを与えられています。(S・M)

♡お世話になった息子は33歳。もうすぐ二児のパパです。(S・H)

♡ワーカーでお世話になっていた者です。コロナ感染が広がってから行くことができず申し訳なく思っています。今回の寄付は母も一緒です。(S・Y)

♡感謝です。ありがとうの気持ちを込めて。(F・M)

☆振込用紙より

♡お働きに感謝。大きな慰めを与えられています。(S・M)

♡お世話になった息子は33歳。もうすぐ二児のパパです。(S・H)

♡ワーカーでお世話になっていた者です。コロナ感染が広がってから行くことができず申し訳なく思っています。今回の寄付は母も一緒です。(S・Y)

♡感謝です。ありがとうの気持ちを込めて。(F・M)

♡おねえちゃんと一緒にお手伝いをしてお金を貯めました。世界中の人たちが幸せなクリスマスを過ごせますように。(K・A)

♡お手伝いをしてたくさんためました。困っている人、使って下さい。(H・R)

♡皆さまの健やかな成長と明日の光がどうか守られますように。『だいに使ってね』(K・H)

♡この献金を神様の御用の為にお使いください。ほんの気持ちですが、少しでもお役に立てたら嬉しいですよ。子どもがみんながニコニコ笑顔になりますように。(S・T)

♡ささやかですが、お役に立ちますように。(T・Y)

☆クリスマス献金に添えて
— 麻生明星幼稚園 —

後援会役員会報告

- ◎第三回 二〇二二年十一月十六日
・相談室だより79号に関する件
・同窓会に関する件
・会計補佐に関する件
・次年度役員に関する件
- ◎第四回 二〇二三年一月十三日
・会計報告に関する件
・次年度予算案に関する件
・ボランティア保険に関する件
・相談室だより80号に関する件
・23年度定期総会に関する件
- ◎第五回 二〇二三年三月二五日
・会計報告(決算書・予算書)
- ◎次回予定 二〇二三年四月十九日
・23年度定期総会に関する件

北海道クリスマンセンター 家庭福祉相談室事業後援会 2023年度 定期総会

日時 5月12日(金)
午後6時30分から
場所 北海道クリスマンセンター
504室 (北区北7西6)

社会福祉相談室 活動報告
議題

1. 2022年度事業報告及び決算報告に関する件
2. 2023年度事業計画及び予算に関する件
3. 2023年度役員及び会計監査選出に関する件
4. その他

今年度は通常総会を行う事になりました。夜間の開催ではありますが、支援者の皆様には多数お集まり頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

尚、準備の都合上、ご出席の方は、5月2日(火)までに、下記にご連絡頂きたく宜しくお願い致します。

家庭福祉相談室 (011-746-6374)

相談室事業後援会 役員会

♡ 支援者のお便り ♡